

清水エスパルス選手の「子育てモットー」

静岡市と清水エスパルスは、子どもへの虐待のない社会を目指し、子ども虐待防止「オレンジリボンキャンペーン」を展開しています。
清水エスパルス選手のうち、お子さんがいらっしゃる各選手から、「パパとしての子育てモットー」を伺いました。



GK.1 櫛引 政敏

子どもと同じ目線で、目を見て話しかけています。叱る時も、もちろん目を見て、子どもの気持ちを十分感じ、ふれあいをもって接しています。



FW.10 大前 元紀

子どものもつ夢の大切さを感じ、目標となる大人になるよう、サッカーをしている時と同じように、自分の行動・言動には気をつけています。子ども達が元気に成長してくれたら、親として、これほどにない喜びであります。



DF.3 平岡 康裕

子どもに接する時、言葉遣いには非常に気をつけています。子どもの目を見て、ふれあい、心を込めた優しい言葉を、常に投げかけるよう心掛けています。



静岡市子ども虐待防止キャプテン 本田選手からのメッセージ

子ども達には、いつでも、どんなことでも夢をもって欲しいです。そして、外に出て、思い切り夢中に遊んでもらいたいと思っています。子どもは大変恥ずかしがりなので、大人の方から近付いて、話しかける、そのような行動を心掛けています。子ども達が夢や目標に向かって進めるように、エスパルスと共に明るい社会を築いていきましょう。

清水エスパルス 静岡市子ども虐待防止キャプテン MF.7 本田 拓也

子ども虐待に早く気づくために

子ども虐待は未然に防ぐことが第一ですが、それが困難な場合は、できるだけ早く発見し、対応することが必要です。

CHECK ✓ こんな子どもはいませんか？

- ☒ 不自然なケガをいくつもしてあり、手当が十分ではない。
- ☒ 警戒心が強く、手を上に挙げただけで身構える。身体接触を異様に嫌がる。
- ☒ おびえていたと思ったら急に態度を変え、友達に過度な暴力を振るう。
- ☒ 親という時にオドオドし、表情が乏しい。
- ☒ 季節にそぐわない服装をしていたり、衣服や身体が非常に不潔である。
- ☒ 下校時刻を過ぎても、家に帰らなかったり。
- ☒ 保育園・学校等に理由がはっきりしない欠席が多い。
- ☒ 性的なことに過度に興味を示す、あるいは不安を表す。



CHECK ✓ こんな家族はいませんか？

- ☒ 子どもへの対応が、ハラハラするほど乱暴である。
- ☒ 昼夜問わず子どもの泣き声・謝る声が聞こえる。
- ☒ 子どもを冷たく扱ったり、他のきょうだいと差別的に扱っている。
- ☒ 子どものケガなどについて、不自然な状況説明をする。
- ☒ 地域や親族の中で孤立しており、家族の姿が見えない。
- ☒ いつも子どもだけで留守番をさせている。



「おかしいな」と感じたら、迷わず連絡を。

子どもへの虐待が事実として確実でなくても、「虐待があるのでは？」と感じたら、右記に相談をしてください。
「笑顔のために、まず相談」です。「近所に心配な家庭がある」「自分の子育てがこの方法で良いのかわからず悩んでいる」そんな時、一人で悩まずに、まず相談してください。相談者が特定されないように対応します。

連絡・相談（月～金 8時30分～17時15分）

- 静岡市児童相談所 ☎054-275-2871
- 駿河福祉事務所 保育児童課 ☎054-287-8675
- 葵福祉事務所 保育児童課 ☎054-221-1096
- 清水福祉事務所 保育児童課 ☎054-354-2119

子ども虐待緊急通報（24時間・365日）児童相談所全国共通ダイヤル ☎189 ※電話番号が3桁になりました。